



第2号

平成25年9月

神宮寺 便り

発行 普天満山神宮寺

宜野湾市普天間1-27-11

098-892-3335

今月は秋彼岸です。期間は、秋分の日の前後三日間（九月二十日～二十六日）となっています。先祖供養の為に、仏壇に果物や菓子を飾りましょう。

空海と真言密教

良啓

空海の生涯

讃岐国（現香川県）善通寺市生まれ。十八歳の時、都に出て出世の為に儒教を学びましたが、次第に仏教にのめり込み、深山で修行。その後入唐し、長安にて密教の大家である恵果阿闍梨より金剛界・胎蔵部の両部を授かり帰国。嵯峨天皇より寵愛され、高野山（和歌山県）や東寺（京都）を中心に真言宗を布教し、六十二歳の時、高野山奥の院にて入定しました。

真言密教の誕生

奈良時代後期に部分的な密教の経典や教えは日本に伝わっていました。空海が大量の法具と経典を携えて、正式な密教を伝えました。

真言密教の教義は「即身成仏」です。それまでの奈良仏教では、悟りにはとてつもない時間を要すると説いていました。密教ではこの身このま（即身）で悟る（成仏）事が出来ると説きました。また、空海が伝えた法具の中に曼荼羅があります。これは、文字の読めない民衆のために、お経を絵にして、その教えを説いたものであります。



金剛界（左）と胎蔵部（右）曼荼羅



弘法大師のことば

裕俊

そきょう

けが

すなわ

夫れ境は心に随つて変ず、心垢るときは即ち境濁る。

性霊集卷二・玄珠を瑩く碑（定八・二一）

「眼に入る光景は、見る人の心のあり様によって大きく変わる。すなわち、心が暗く閉ざされ、悪い想いに支配されているときには、光景もそのようにしか映らない。」

いつも人の悪口を言っているような人が居ます。何故いつも悪口を言っているのかというと、自分が今置かれている状況に不満があり、その不満を人にぶつけてしまっているのです。人の悪い所ではなく、良い所を見つけてあげることができれば、心が開かれて自分の問題解決に近づけます。前向きな考え方を心がけましょう。

今月のお茶 「台湾香片茶」

金城奈緒子

お隣台湾で大衆に飲まれている「香片茶」。カタカナ表記してみると「シャンピエンチャー」。そう、沖縄の「さんぴん茶」はこの呼び名が由来とされています。台湾香片茶は、包種茶という烏龍茶にジャスミンの香りを移したものです。香片茶もさんぴん茶も、一般に「ジャスミンティー」と呼ばれるお茶より香りが柔らかいのが特徴となっています。

※こちらで紹介したお茶は、毎月神宮寺学ぶ会にて提供させて頂いております。

◎来月の神宮寺 十月十二日 ふてんまつり

十月十三日 観音祭